第２部　地域づくりに関する調査研究及び活動

Ⅰ　「子育てひろば」に求めるもの～市民1800人の声から

NPO法人北九州子育ち・親育ちエンパワメントセンター　　理事 岩　丸　明　江

1　調査の目的

平成19年12月、九州各地の子育て支援の地域拠点を運営する関係者が集まり〈子育てひろば研修セミナー　北九州会場〉（子ども未来財団主催）開催されました。その際、市内では、今後、どのような内容の広場を望むのか、幅広い市民の声を集めるために、北九州市の地域子育て支援拠点に関するアンケート（調査票名　「☆★☆あなたの声を聞かせてください！☆★☆～こんな子育てひろばがほしい！」）を実施しました。平成19年度現在の状況としては、北九州市内には、子育て中の親子が行く場所としては、地域の「市民センター」や「児童館」、また、全市的な総合施設として、小倉駅北口に「子育てふれあい交流プラザ」があります。各区には、「地域子育て支援センター」が８箇所あり、さらに現市長がマニフェストで表明されたように、平成20年度以降、各区に新しく乳幼児親子が集える場が整備されていく予定です。

2　調査方法

⑴　調査名：「あなたの声を聞かせてください！～こんな子育てひろばがほしい！
（子育て中の親子が行く場所が新しくできるなら！）　」

⑵　調査期間：2007年９月20日～10月25日

⑶　調査方法：

ａ．全市民センター128箇所（手渡しし、メール便で回収）

ｂ．市内3箇所の地域子育て支援センター（郵送あるいは直接回収）

ｃ．各区の子育て相談等、母子保健事業のご協力を得て（直接回収及びＦＡＸ）

ｄ．教育委員会　子育てサポーター研修事業を通して（直接回収及びＦＡＸ）

ｅ．保育所連盟のご協力を得て（直接回収）

ｆ．当ＮＰＯの関係者や協力者を通して（直接回収及びＦＡＸ）

⑷　調査対象：市民

⑸　回収数：1,839通（有効回収数　1778通）

⑹　調査方法別回収率

ａ．市民センター分	配布票	1,280	回収票	1,112	回収率	86.9％
その他、保育職	配布票	66	回収票	66	回収率	100.0％
心理職	配布票	26	回収票	24	回収率	92.3％

（これら以外の対象者はＦＡＸ回答もあり、配布数が不明。回収数は637通。手渡しした分はほぼその場で回収した。）

⑺　回答者の属性　（表１）

表１　回答者の属性

			年齢							
		全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	無回答
性別	女　性	1438	130	461	357	278	135	29	1	47
		100.0	9.0	32.1	24.8	19.3	9.4	2.0	0.1	3.3
	男　性	276	4	14	22	40	144	41	5	6
		100.0	1.4	5.1	8.0	14.5	52.2	14.9	1.8	2.2
	無回答	64	1	6	8	9	9	4	—	27
		100.0	1.6	9.4	12.5	14.1	14.1	6.3	—	42.2
	全　体	1778	135	481	387	327	288	74	6	80
		100.0	7.6	27.1	21.8	18.4	16.2	4.2	0.3	4.5

（表中の下段は構成比を表す：以下同様）

3 調査結果

⑴「Ｑ２．集える場に期待するもの（５つ選択）」調査結果

表２　つどいの場に期待するもの（５つまで択）

	全体	子育て中の親	子育て支援者	市民	市民センター	専門家	行政関係	無回答
回答者数（人）	1778	718	147	215	521	110	14	53
1）スタッフ	1002	367	91	123	325	68	11	17
	56.4	51.1	61.9	57.2	62.4	61.8	78.6	32.1
2）毎日	595	269	48	75	161	32	2	8
	33.5	37.5	32.7	34.9	30.9	29.1	14.3	15.1
3）長い時間	263	131	17	34	69	8	1	3
	14.8	18.2	11.6	15.8	13.2	7.3	7.1	5.7
4）友だち	826	356	69	97	237	46	6	15
	46.5	49.6	46.9	45.1	45.5	41.8	42.9	28.3
5）相談	864	284	67	119	307	66	8	13
	48.6	39.6	45.6	55.3	58.9	60.0	57.1	24.5
6）おもちゃ	286	171	11	29	58	11	3	3
	16.1	23.8	7.5	13.5	11.1	10.0	21.4	5.7
7）専門家	443	139	26	65	147	54	7	5
	24.9	19.4	17.7	30.2	28.2	49.1	50.0	9.4
8）情報	852	348	79	100	254	47	5	19
	47.9	48.5	53.7	46.5	48.8	42.7	35.7	35.8
9）食事	203	142	7	12	29	5	3	5
	11.4	19.8	4.8	5.6	5.6	4.5	21.4	9.4
10）週末	145	57	9	24	40	10	2	3
	8.2	7.9	6.1	11.2	7.7	9.1	14.3	5.7
11）託児つき講座	438	191	32	48	141	15	3	8
	24.6	26.6	21.8	22.3	27.1	13.6	21.4	15.1
12）外遊び	406	200	27	47	107	14	2	9
	22.8	27.9	18.4	21.9	20.5	12.7	14.3	17.0
13）環境整備	948	386	80	106	293	64	7	12
	53.3	53.8	54.4	49.3	56.2	58.2	50.0	22.6

14）ほっと	435	147	58	48	130	44	3	5
	24.5	20.5	39.5	22.3	25.0	40.0	21.4	9.4
15）支援者の学び	217	39	40	40	71	18	2	7
	12.2	5.4	27.2	18.6	13.6	16.4	14.3	13.2
16）その他	43	27	2	2	6	5	0	1
	2.4	3.8	1.4	0.9	1.2	4.5	0.0	1.9

・「全体」と「子育て中の親」では、上位５項目は下記のようになりました。

表３　上位５項目　　（％）

	全　　体		子育て中の親	
第１位	必ずスタッフがいる	56.4	子どもに配慮された環境整備	53.8
第２位	子どもに配慮された環境整備	53.3	必ずスタッフがいる	51.1
第３位	相談できる	48.6	友だちができる	49.6
第４位	子育て情報がある	47.9	子育て情報がある	48.5
第５位	友だちができる	46.5	相談できる	39.6

・どの立場からも30％以上、支持されたのは、同様に
　１）必ずスタッフがいる
　４）友だちができる
　５）相談できる
　８）子育て情報がある
　13）子どもに配慮された環境整備である　　の５項目でした。

・「子育て中の親」が全体平均よりも特徴的に多く支持したのは
　６）よいおもちゃがある
　９）食事ができる
　12）外遊びもできる　　の３項目でした。

・支援者が全体平均よりも特徴的に多く支持したのは
　14）ほっとできる
　15）支援者の学びの場　　の２項目でした。

集う場所として期待する基盤的な条件は、どの立場でも共有されているようです。それに加えて、それぞれの立場で、求めるものの傾向がうかがえます。

⑵ 「Ｑ３．区ごとにできるつどいの場として最も重視する点」調査結果

表４　最も重視する点

	全　体	子育て中の親	支援者	市民	市民センター	専門家	行政関係者	無回答
全体	1778	718	147	215	521	110	14	53
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
情報提供	289	113	22	43	90	13	1	7
	16.3	15.7	15.0	20.0	17.3	11.8	7.1	13.2
相談	158	44	11	24	51	21	2	5
	8.9	6.1	7.5	11.2	9.8	19.1	14.3	9.4
学び	158	63	10	24	44	14	2	1
	8.9	8.8	6.8	11.2	8.4	12.7	14.3	1.9
出会いの場	875	348	84	93	279	50	5	16
	49.2	48.5	57.1	43.3	53.6	45.5	35.7	30.2
リフレッシュ	246	139	16	25	52	9	4	1
	13.8	19.4	10.9	11.6	10.0	8.2	28.6	1.9
無回答	52	11	4	6	5	3	—	23
	2.9	1.5	2.7	2.8	1.0	2.7	—	43.4

表５　最も重視する点　項目順位

	子育て中の親	支 援 者	市　　民	市民センター	専 門 家	行政関係者
①	出会いの場	出会いの場	出会いの場	出会いの場	出会いの場	出会いの場
②	リフレッシュ	情報提供	情報提供	情報提供	相談	リフレッシュ
③	情報提供	リフレッシュ	リフレッシュ	リフレッシュ	学び	相談＊
④	学び	相談	学び＊	相談	情報提供	学び＊
⑤	相談	学び	相談＊	学び	リフレッシュ	情報提供

＊は同数

区ごとのつどいの場として最も重視されているのは、どの立場でも、「出会いの場」でした。また、「リフレッシュの場」「情報提供の場」も上位です（表４、５）。

カイ二乗検定の結果、それぞれの立場で、選択されたこれらの結果は、偶然ではなく意味のあるものでした（偶然による危険率は１％以下）。つまり、例えば、子育て中の親は、ひろばに対して、まず「出会いの場」や「リフレッシュの場」として期待しており、「相談」にはそれほど期待していません。子育て中の親については、多肢選択の際に「相談」が５位に入りましたが、単一回答は、わずか6.1％であることは、つどいの場での「相談」をそれほど重視していないことがうかがえます。

「出会いの場」の基本的な条件としては、Ｑ２の「子どもに配慮された環境整備」「必ずスタッフがいる」「子育て情報がある」等があり、その結果「友だちができる」ことが期待されているようです。「相談の場」「学びの場」は、単独回答のＱ３においては上位でないことは、「出会いの場」で、なんらかの工夫によって、対話が生まれ、不安が減少したり、相互の学びにな

るようなしかけが必要とされているのではないでしょうか。

⑶　Ｑ４　自由記述について

自由記述をそれぞれの立場でまとめました。

子育て中の親の場合

◆系統だった支援（ひろば→サークルへ）

・もっと子育てサークルを増やしてほしい

・市民センターでは、クラブがたくさんあり、盛んだが、部屋の空きが少なく借りられない。

◆PR・情報提供の改善

・集いの場があるのは知っているが、PRが少ないため何をどこでやっているのか分からない。

・集いの場の案内をもっとたくさんしてほしい（市政だより等で）

・各市民センターの情報が区役所に行かないとわからないのが不便

・子育てに関する情報が耳に入る場

◆ハード面での要望

・室内でも思い切り走り回れるような場があると助かる。

・年令（月齢）に応じた遊びができる場であってほしい

・駐車場があったら行きやすい。

・毎日開いている場所を区に一つは作ってほしい

・長い時間あいているところが少なく利用できる場所が限られる。

・時間が短いので、昼をはさんで、過ごせるところがあればいいと思う。

・児童文化科学館のように外でも室内でも遊べる場。乳児・幼児・小学生と子どもたちが興味のあるような場

・大きな一つの部屋の施設よりも、子どもが動け回れる部屋をいくつか、というのが希望。

・飲食を共にすることによってできるコミュニケーションもあると思うので、まず飲食スペースは必需品だと思う

・小倉の「ふれあい交流プラザ」をよく利用しますが、あの飲食スペースにアイスやジュースの自販機は必要ないと思う。(子どもは目に見えるものをほしがるに決まっているのに、あえてあそこで我慢させるのは酷だと思うし、子どもも納得できないと思う。)そういった観点から本当にあらゆる面で子どもに配慮された環境整備を望みます

◆設置の場所

・家からベビーカーで行ける距離に

・子育てふれあい交流プラザのような整ったスペースはありがたいが、入園料は安いけど、駐車場料が高い。

・バスの利用もしにくいので、もっと便利の良い場所にあると良いと思う。

◆運営の工夫

・ねんねの子は火曜日、週１回は走り回れる日　託児ありの講座もあり、親しくなってとてもよかった。

・年長者の方々が集まっている所に気軽に行くことができ、昔の遊びやお話を聞いたりすることが出来るといいと思います。
・平日に仕事を持っており、行政のする行事になかなか参加できない。
・自然のことに子ども達が興味を持って、活動できたらいいと思う。

◆託児つきの講座
・各市民センターでは様々な講座が行われているが、託児がないところがほとんどなのが残念。

◆雰囲気づくり
・親と子の友達が作りやすい場にしてほしい
・常に明るく、利用しやすい雰囲気作り。入りやすい環境づくり。子供を離れてリフレッシュできる環境。
・普通に生活しつつ、子育てをしていてポスターなどはあるが、足が行きにくく感じている。

◆スタッフ
・「何でもお答えします」の専門家よりも、聞いてくれるスタッフ、一緒に考えてくれる子育て経験者、同じ年頃の子を持つママ友のほうが必要。

◆ひろばを支える仕組みについて
・各校区ごと、市民センター、児童館を核として育児サークルやフリースペースが続々と立ち上がっていますが、どちらでも支援スタッフ（無給ボランティア）の熱意に頼るばかりで、後継者不足やノウハウ等の情報不足に悩まされています。そうした支援スタッフを支える体制として、専従の人間、場所を整備して欲しいと思います。子育て支援の立場を考えるときに、無給ボランティアをあてこんでいる安易さを感じることがよくあります。高齢者介護に向ける行政支援と同等までは言いませんが、スタッフを支えるスタッフにはそれなりの裏打ちが必要。

◆そもそも
・区ごとにできるとはどういうことか。１つだけできても遠くに出来れば行きにくい。交通手段を考えてまで、集える場に行くだろうか

◆その他
・図書館にオムツ替えや授乳室がないのが残念
・大掛かりな所へイベント的に出かけるのはいつのも支援にはならない。
・働く女性を支援していただけるよう、子どもを預かる環境に充実を求めます。

<u>支援者の場合</u>

◆そもそも
・区ごとに新しく作るよりも、現在各センターで行っているフリースパースを活用を見直し、親子が集いやすい近所にあった方がいいのでは。集いの場が親がわがままで使用できる場にならないようにして欲しい。

◆子育てを支える仕組みについて
・集まるお母さんたちが自主運営できるように支援者が手助けする施設になって欲しい

◆ボランティアを支える仕組みについて

・託児ボランティア経験から、楽しくボランティアできる場が大事です。それには市民センターの館長さんの協力、理解があると子育て支援活動が出来ると思う。地域のセンター内に作るべき。

・活動費を出して欲しい。

・支援者の学びの場（資格）が欲しい。

◆運営の工夫

・ただ、集うだけでなく、別の体験ができること。

専門家の場合

◆ひろばで育まれるもの

・集いの場が親のリフレッシュの場になり、子どもに目が向かないことが多いため（あまり望ましくない)、子どもに配慮された環境整備は必要だと思う。また、親子が共に育ちあい学びあう場であり（わらべうた、あそび等遊びの提供)、親子が他者との出会いの場、子育ての悩みを専門家に気軽の相談できる場になることが望ましいと思う。

・子育て中の親子と限定するのではなく、地域の人々が自由に気楽に集える場、交流できる場であってほしいと思います。

・現在あるフリースペースなど（保育所で行っている地域開放事業）では、リフレッシュの場としての利用が多いように感じます。安心して子どもの遊ばせる場を求める方も多いようです。子育て意識の向上を目指して質の高い子育てひろばが増えたらいいな、と感じます。

・設備が整いすぎている。遊具がなくて親子でふれあえ、家庭に帰り、継続して遊ぶことができる場があってもよいのでは・・と思う。(物がなくても遊べる方法)

◆他資源との連携

・専門家がいてある程度の悩みに対応でき、専門機関にもつなげられる、スタッフが常にいることが必要では？

・必ずしも専門家の関与は必要ないと思う。各区の実情に見合ったものであるべき。一律の形にはしないことを希望。

・虐待予防、虐待発見にも役立つと思う。既存の地域資源や児相等との連携が重要だと思う。

以上、それぞれの立場からの記述には、それぞれの視座特有のものもあります。子育て中の親からは、やはり、設置場所、時間、スタッフ、飲食や外遊びなど、多様で豊かな条件整備の要望があります。支援者からは、ボランティアを支えるしくみにも意見があります。専門家からは、広場で何が育まれるのか、親育ちにもつながるような広場のあり方、そして、三層構造の連携の中での広場の位置づけについての言及もありました。それぞれの立場で共通の意見は、身近で、気軽に行きやすく、開かれた雰囲気の場所であることが支持されていることです。

4　まとめ

以上、市民約1800人から得られた意見を考察してきました。

これから整備されていく子育てひろばには様々な期待が寄せられています。しかし、予算など前提となる条件もあるので、総花的にやれるわけではありません。この調査は、子育て中の親と言っても、すでに地域でひろば的な場所に来ている親対象の調査であること、また、アンケート原本で区レベルのひろばであることを伝えてはいますが、回答者は、それほど、区レベルのものであることを意識していない記述も多いなど、一定の前提があることは否めません。

その上で、この調査からみえたことは、身近に「出会いの場」となるようなひろばが、行きやすい開かれた雰囲気で設置されてほしい、ということです。そこに「スタッフがいる」「子育て情報がある」「子どもに配慮された環境整備である」ことによって、「相談できる＝不安が減少」し、「親・子双方に友だちができる」ことが望まれています。

また、地域に支援者を支えるしくみがあり、ひろばで育まれるものによって親が育つこと、も期待されています。こうしたひろばは、もちろん他の地域資源とも連携し、支えられているものであるはずです。

私たちはこれらの結果から以下の３点を提言したいと考えます。

⑴　真の親育ち支援ができるスタッフを

12月７日の「子育てひろば研修セミナー〈北九州会場〉」では、子育て中の親の「ニーズ」と「デマンド」の話がでました。目先の欲求するものは「デマンド」、真に必要としているものが「ニーズ」と呼びます。例えば、アルコール依存症では、デマンドに沿うと、依存症の人にアルコールを与えてしまいます。実は、その人が本当に求めているのは、アルコールから脱却することなのです。同じように、ひろばが様々なものを育み、親自身の力をつける場となるためには、デマンドとニーズをきちんと区別できる支援者、（あるいは当事者かもしれない）スタッフが必要です。そして、「教える」というタテ目線の指導ではなく、親自身の経験と価値観を尊重する中で、気づきを「引き出す」、傍によりそう支援が必要とされています。

⑵　地域資源連携ができるひろばに

虐待や発達障害など、今の子育てには様々な複雑な課題がありますが、ひろば自体で一生懸命解決しようとすると、キャパシティを超えてしまいます。ひろばは入り口にはなりますが、解決する場所ではありません。保育士、保健師、心理職、小児科医等の方々のバックアップは欠かせないものであり、専門性との連携を密にすることによって、本当に安心でき、蓄積できる場所になっていくのだと思います。

⑶　親自身が担い手になり、地域に根づく場に

前述「子育てひろば研修セミナー〈北九州会場〉」で確認されたことは、当事者がお客さんになってしまうのではなく、自分たちで、親・子双方に必要な環境を創り出していく担い手になっていくような活動の大切さでした。子育てを通して、地域を知り、地域の人や情報に出会うことはその後の子育ての大きなサポートになるはずです。ひろばで抱え込むのではなく、そのようなしかけをどう事業の中に組み込むかが大切になってくると思われます。そのために、ひろばで必要とされる条件整備について（デマンドではなく、真に必要とされる

ニーズを）確認する必要がありそうです。

さらに、上述のように、親が地域に出会い、親・子双方に必要な環境を創り出していく、というアプローチに関しては、例えば、親自身の要望が強い、“外遊びができるひろば”活動を通して、実際にそのような遊び場づくりに関わる、という体験も重要になってきます。平成19年度市民意識調査「これからのまちづくりについて」（総務市民局市民部公聴課）では、子育て支援に関する優先施策について、「子ども連れが利用しやすく、いつでも安全・安心に遊べる公園や施設」（13.0％）が「地域による子育て支援活動」（11.8％）よりも上位にきています。「安全・安心に遊べる公園や施設」は誰によって育まれるのか――。東京都世田谷区や横浜市等で試みられている、プレーカーやプレーリヤカー、公園サポーターなど、市民が担う多様な取組みからヒントを得ながら、地域でできる試みをしっかり展開していく必要がありそうです。

今回、様々な方のご協力があって、このような調査を実施することができました。ちょうど子育て中の男性の声が少ないなど、課題は多々ありましたが、本当にたくさんの市民の声に接し、私たちも多くを学ばせていただきました。心から感謝申し上げます。また、分析の過程でご助言いただいた北九州市立大学都市政策研究所の石塚優先生にもこの場を借りて御礼申し上げます。

調査はよりよいＮＰＯ活動のための基盤です。ニーズを確認しつつ、地域でＮＰＯとして、何ができるか、今後とも努力してまいりますので、どうぞ、引続きご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

ＮＰＯ法人　北九州子育ち・親育ちエンパワメントセンター
代表理事　中村雄美子

使用した調査票は次の通り

原本

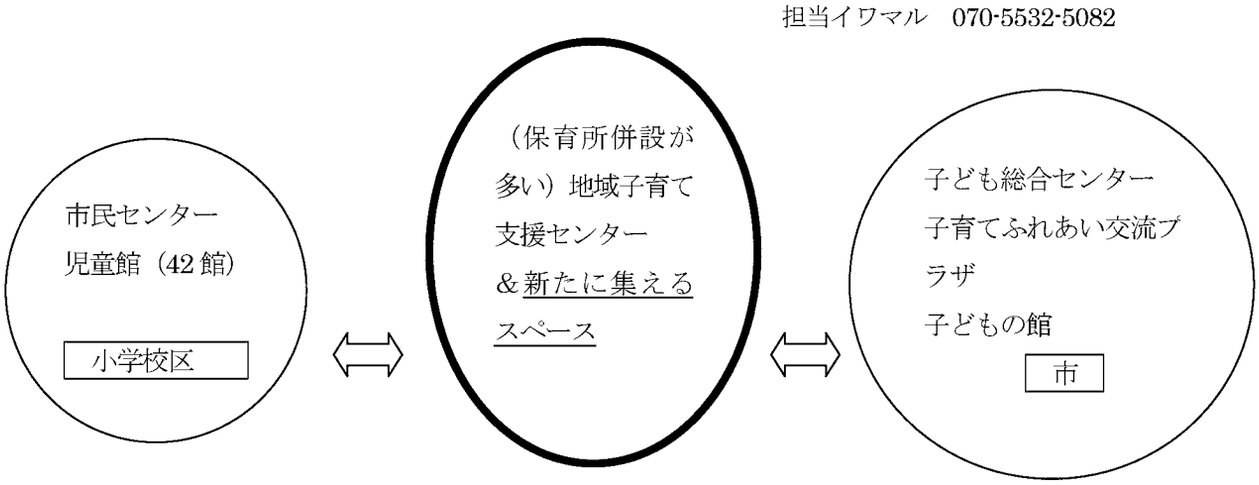
子育て中の親子が行く場所が
新しくできるなら!!

☆★☆あなたの声をきかせてください！☆★☆

こんな子育てひろばがほしい！

今、北九州市内には、地域で、子育て中の親子が行く場所として「市民センター」や「児童館」、また、全市的な総合施設として、小倉駅北口に「子育てふれあい交流プラザ」があります。各区には、「地域子育て支援センター」があります。**さらに市長がマニフェストで表明されたように、今後、各区に新しく乳幼児親子が集える場が整備されていく予定ですが、あなたはどのような内容のものを期待しますか**？ぜひ、意見を聞かせてください。皆さんの意見をまとめて、担当課にお伝えすると共に、年末12月7日の＜全国子育てひろばセミナー＞（ムーブで開催）で報告します。

このアンケートについての連絡先　実施主体：北九州子育ち・親育ちエンパワメントセンターBee
担当イワマル　070-5532-5082



Q１.　あなた自身について教えてください（該当するものに○をお願いします）。

＊性別・・女性　・　男性　　＊年令・・（　　）才代

＊立場・・１）子育て中の親　２）子育て支援者　　３）市民　４）市民センター関係者

５）専門家・研究者（専門分野：　　）　（６）行政関係者

Q２. あなたがこの集える場に期待するもの（５つまで○をおねがいします）

１）必ずスタッフがいる　　２）毎日あいている　　３）長い時間あいている

４）友だちができる　　５）相談できる　　６）よいおもちゃがある　　７）専門家がいる

８）子育て情報がある　　９）食事ができる　１０）週末に空いている

11）託児つきの講座がある　　12）外遊びもできる　13）子どもに配慮された環境整備である

14）ほっとできる　　15）支援者の学びの場

16）その他（　　）

Q３. 区ごとにできる集いの場として、あなたが最も重視する点は？（一つだけ○を）

１）情報提供の場　　２）相談の場　　３）学びの場

４）出会い、（親・子双方にとっての）友だちづくりの場　　５）リフレッシュの場

Q４. 区ごとにできる集いの場について、あなたの感じる事、意見をなんでも自由にお書きください。

資料　Ｑ４記述より抜粋（なお、区については、居住区ではなく回収場所を表しています。）

■子育て中の親

区	年令区分	Ｑ４　自　由　記　述
不　　明	20	親同士子ども同志がふれあえる場がほしい。
不　　明	30	もっと子育てサークルを増やしてほしい
小倉北区	20	集いの場があるのは知っているが、PRが少ないため何をどこでやっているのか分からない。子育て交流プラザは子供が喜ぶ工夫がたくさんあって良かった。
小倉北区	20	定期的に参加できる行事があれば、それに参加する人と友達になりやすいので(顔見知りになって）無料で参加できるサークルがあるといい。
小倉北区	20	雨の日だと特に室内になるので、室内でも思い切り走り回れるような場があると助かる。子供が男の子で、とても元気なので体力を発散できれば助かる。
小倉北区	20	家からベビーカーで行ける距離に室内と外で遊べる施設があると助かる。おもちゃも木のおもちゃが中心がいい。もちろん利用料は無料で、広い駐車場もあるといい。保育士さんが週に２～３回いてくれたら相談もできると思う。
小倉北区	30	毎日遊びにいける。ねんねの子は火曜日、週１回は走り回れる日　託児ありの講座もあり、親しくなってとてもよかった。
小倉北区	30	ほかの子を叩いたりする子を、その親があまりとがめないときに専門家などの人がアドバイスしてもらえると助かる（後輩ママからは助言できないので)
小倉北区	30	子どもを見ない親が増えているため、安心して遊ばせることができないと最近思う。小さい子どもがいるにも関わらず、大きな子どもが暴れたり、走り回ったりと危ない。その時、親に注意するスタッフ、もしくは子どもを見てくれるスタッフが常時いてくれるとありがたい。
小倉北区	30	親のマナーも広げる(伝える)講座？があっても良いと思う。
小倉北区	30	親と子の友達が作りやすい場にしてほしい。たくさんの集いの場を作ってほしい。行ける範囲ならいろいろ行ってみたい。
小倉北区	30	子育てふれあい交流プラザのような整ったスペースはありがたいが、入園料は安いけど、駐車場料が高い。バスの利用もしにくいので、もっと便利の良い場所にあると良いと思う。徒歩で行けるあちこちの市民センターのイベントに参加していると、子育ても楽しいので助かります。
小倉北区	30	そういう場所や公園で出会ったお友達から仲良しグループができ、いつもの遊び仲間として付き合いが深まっていく。近所ならではの良さだと思う。上の子でそういう良い展開だったので、今は下の子のお友達探しに出かけている。
小倉北区	30	自由解放で子供を遊ばせながら、親がリフレッシュできる講座をたくさん作ってほしい。(土日も父親や見てくれるひとがいるとは限らないの。）年齢別に部屋を分けるとかの工夫もしてほしい。
小倉北区	30	雨天時にいつも行くところに困っている。子育てふれあい交流プラザは休日のときは子供でごったがえしているので、ゆっくりは遊べない。
小倉北区	30	普通に生活しつつ、子育てをしていてポスターなどはあるが、足が行きにくく感じている。交流についても大事だが、専門的に相談してくれる人がいると、少し行きやすくなると思うし、願いでもある。遠くまで行っての相談は大変なので、近くの市民センターで気軽にお願いします。
小倉北区	30	年長者の方々が集まっている所に気軽に行くことができ、昔の遊びやお話を聞いたりすることが出来るといいと思います。
小倉北区	30	室内の遊具を無料で使用できる場がほとんどないと思うので、そういう場を多く設けてください。小さい子供のいる家庭は助かると思います。
小倉北区	40	現在、市民センターの子育て講座を利用。親子ともに楽しみにしている。各市民センターでは様々な講座が行われているが、託児がないところがほとんどなのが残念。新たにできる施設では託児付きの講座があればいい。また、車を運転して移動すること（人）が多いので、駐車場が確保されていないと利用者も限定されると思う。

区	年令区分	Ｑ４　自　由　記　述
小倉北区	40	大げさな施設や講座がなくても、とにかく友達（親子双方）ができるようなスペースがほしかった。例えば、(わがままだが）いつも専門スタッフが見ているのではなく、ちょっと距離をおいて、相談したい時（話を聞いてほしい時）などに手を差しのべてもらえるような・・・(母親や周りの人にまであれこれ指示され、だんだん追い詰められていく気分だった)。「自分だけじゃないんだ！」「ちょっとした事（相談所で聞くほどじゃないけど）でも、笑わずに聞いてもらえる」様な気の置けない友達作りがしたかったので、遊具重視ではなく、ほっとできるスペースがベストだった。保育園での子育て支援センター(古城保育所）はわざわざ実家に泊まってまで利用していた。小倉北区では、情報がわからず困った。 ３人目の時は、幼稚園併設の「いちごクラブ」でゆっくりと話をしながら、子どもにも目が届いて、本も借りられて、とても楽しかった。夏のプールもうれしかった。あまりお金を使わずに、親子が構えずに行ける場所作りを提供してほしい。公民館の「いちごクラブ」も、創設時から通った。
小倉北区	40	“親子で楽しめる場”であって欲しい。スタッフに子どもをまかせきりで親だけが話しに夢中になっている場面をよく見る。「子育てふれあい交流」ではなく「親のみ交流」になっていて残念。若いお母さんに最低のマナーも少しは教える場になっても良いのではないか。常識なさすぎの親が多すぎ。
小倉北区	40	子育てしやすい区にしたい。
小倉北区	40	子育て初心者の人は、どこでどのようなことがあっているか分からないので、各区で同じ内容のものがあればいい。
小倉北区	40	裸足で遊べるきれいなところ。駐車場があるか、駅に近い場所。
小倉北区	40	集いの場を運営される方々がボランティアでなく、ちゃんと報酬を受け取ることが望ましいと思う。
小倉北区	40	無料、安全であること。
小倉北区	40	参加しやすい。一人でも入って行けるような雰囲気。
小倉北区	50	情報を入れる場が分からない。
小倉北区	50	出会いの場にしたい。リフレッシュ⇒出会いがある⇒相談できる・情報を得られる・学びの場になる。心を開くことが大切。
小倉北区	50	駐車場や公共の交通機関の停留所近くなど、交通の便が良いところで、気軽に相談し合える交流の場として。
小倉北区	―	子育て中の親に１番必要なのは、子どもから解放される時間が取れることだと思う。それは託児所であったり、幼稚園であったりするかもしれないが、もっと気軽にそういう時間を過ごすことができる場所がほしい。子どもから解放されることにより、自分自身を取り戻し、また新たに子育てへの力も沸いてくると思う。最近は男性も子育てに参加してくれていますが、子どもの面倒を見ている男性の世話を妻がしているかたちでは、開放されていないのも同じだと思うから、子どもをとてもかわいく思う時間をたくさん持つために、リフレッシュの空間がほしいと思う。
小倉南区	20	食事ができて、おもちゃがいっぱいあるところがよい。できれば無料（有料でも500円以内）
小倉南区	20	色々な人であったり、子育て情報の場として子育てをしているお母さんにはすごく助かる場だと思う。もっとたくさんこうゆう場があるといい。
小倉南区	20	小倉南は広いので、小さくてもいいので何か所か場所があると良い
小倉南区	30	近所に児童館があり、週２日午前中のみ利用させてもらっている。それ以外は就学中のお子さんが利用されているようですが、午前中は小さい子が利用できてうれしい。
小倉南区	30	長い時間あいているところが少なく利用できる場所が限られる。
小倉南区	30	広すぎると目が届きにくいので適度な広さで。“安全”なだけでなく、子どもがいろいろなことを感じとれる遊具があること（“危ない”とか“ダイナミック”とか）うまくいえないけど・・。そのままの自然とふれあえること。
小倉南区	30	年令（月齢）に応じた遊びができる場であってほしい。天候に関係なく遊べる場所（外、内遊び）　駐車場がたくさんあってほしい。

区	年令区分	Ｑ４　自　由　記　述
小倉南区	30	子育てふれあい交流プラザのような施設が、近くにあればもっと利用する回数も増えると思うのだが、少し距離があるので半年に一回くらいしか利用できない。近場にできるとうれしい。
小倉南区	30	週末はご主人が休みの方も多いと思うので、平日にあいているほうが良いと思う。また、少し遠ければ車の利用もあるので、駐車場もある程度確保できていればいいと思う。
小倉南区	30	お世話になっています。引っ越してきて１番に来る場所です。
小倉南区	30	交通科学館あとは交通の便も良く、公園も近いので、気軽に自由に使える場所になってほしい。町内や活動などで使える場所。小倉南区在住。
小倉南区	30	歩いて行けるところにあった方がいいので、いろんなところにたくさんできたほうがいいのかもしれないが、行きたくなるような場所でなければイミがない。量・質共に充実していてほしい。
小倉南区	30	月に一度、二度は少ないと思います。時間も決められていると、昼寝の関係で行けない。
小倉南区	30	北区、黒崎、戸畑などの施設は興味があり行ってみたいと思いますが、小さな子どもを連れては遠いのでなかなか行きません。身近なところに集いの場が出来ることを期待します。子連れでは出掛ける所が限られるので子どもも親も楽しめる所になればと思います。
小倉南区	30	志井校区に北方の子育て支援センターのような場が欲しい。交通科学館の跡地を子育て支援センターにして欲しい。
小倉南区	30	曜日によって人数が多い少ないがあるので、ある程度の広さが欲しい。清潔であることを望む。水場（手洗い場や洗面所）は子どもの届かないところもしくは専用の部屋に欲しい。ダメと怒りたくないから。
小倉南区	30	北方市民センターのようにいつでも親子でいける場所があると、育児で困ったとき他のママや先生に聞けるので心強い。
小倉南区	30	北方市民センターのように駐車場も利用料も無料の親子で楽しめる場所が欲しい。
小倉南区	30	子育て中にどうしてもうつになることがあることが多いと思う。その相談（なかなか相談することが出来ない人が多い）が必要で、リフレッシュできるようになる場所は必要。また、保育料の確保（国・県・市）
小倉南区	30	上の子が小さい時、公民館の育児サークルに行っていて、今になってもその時のお母さん方と仲良くやっています。また、生まれたら行きたいと思っています。
小倉南区	30	スタッフがいなくても親の責任で片付け、遊びが出来る、毎日開いている場所を区に一つは作ってほしい
小倉南区	30	児童館に冷暖房をつけて欲しい
小倉南区	30	フリースペース等がある事で、地域の子育て中のお母さんと交流することが出来たり、色々な世代の人と情報交換が出来ていい
小倉南区	30	「乳幼児親子が集える場」を整備されていくことはうれしい。一つの意見として、兄弟の年齢差を考えると、「乳幼児親子」よりもせめて小学生（低学年）までの年齢も一緒に集え、親子で友達を作れる場があるといい。(例）児童文化科学館のように外でも室内でも遊べる場。乳児・幼児・小学生と子どもたちが興味のあるような場、設備、イベント（参加費～300円まで）おもちゃよりも家庭や自然にあるものを使って遊ぶ。絵本があるとうれしい。(読み聞かせは大人でもうれしい）最後に、スタッフがいなくても身近にいる大人たちが子どもを見守りながら地域とのかかわりを楽しむことが出来たら。
小倉南区	30	サンサンハウスのフリースペース（予約なしで子どもとママたちが触れ合えるスペース）がもう少し広いといい。親子で触れ合えるスペースでご飯を食べれるようになれば長時間、子どもたちも友達と遊べていいと思う。
小倉南区	30	子育て支援センターなどのスタッフを、子どもから手の離れた母親がする事で、育児相談や幼稚園のアドバイス、友達作り、情報交換など、様々な手助けがより身近に出来ると思う。ボランティアではなく、パートとしてお給料が出ると、お互いに助けになる。もっと母親一人一人の個性を活躍できる場を作って欲しい。たくさんの人が集まる事で、親も子も顔見知りになり、地域の発展につながると思う。

区	年令区分	Ｑ４　自　由　記　述
小倉南区	30	子連れでお茶を飲みながら、ママ同士でゆっくりおしゃべりがしたいと思ったときに、なかなか手ごろな場所がない（センターのサンサンハウスでは狭いし、子育て交流広場では広すぎて、付いて回らなければならない)。新たに集える区ごとのスペースであれば、大きな一つの部屋の施設よりも、子どもが動け回れる部屋をいくつか・・・というのが希望。
小倉南区	30	毎日“ちょっと時間があるのでいってみようかな”という感じで気軽に行ける場所であって欲しい。行けば誰かに会えるかも。新しいお友達も出来るかも。そんなみんながホッと出来る場であって欲しい。広い駐車場だとたくさんの人が集えると思う。適度に自然もある北九州だから、小さいころから自然に親しめるよう、外遊びも出来る施設ならもっと行きたいと思うだろう。
小倉南区	30	いつも子どもと二人で過ごすことが多い。つどいの場があれば参加したい。託児つきの講座があれば参加したい
小倉南区	30	市民センターに行ったことがない。行ってみたい気持ちと入りにくいイメージがある。
小倉南区	30	お母さん同士が友達になれる機会を増やしてほしい
小倉南区	30	場所への交通手段の便利さや車が停めやすいなど子どもを連れて行きやすいかが大事。
小倉南区	30	子どもにとって多くの人に接する事は大切で、今後様々な場で必要になる。多くのことを学ぶ機会になる。柔軟性や団体生活、思いやり、がまんする事、ゆずる心など。
小倉南区	30	山口県熊毛町大河内の保育園の横にあった子育て支援施設のような施設があればいい。親子で月に一回昼食を食べたりしていた。
小倉南区	30	外でも遊べて、学べる場
小倉南区	30	いつでも気軽に出入りでき、安心して子どもを連れていけること。駐車場が広い。世代間交流ができるとよい。
小倉南区	30	各市民センターの情報が区役所に行かないとわからないのが不便。色々な場所に行ってみたいので、宣伝してほしい。
小倉南区	40	市民センターでの「子育て広場」を見てみると、お母さん達が小グループ化して、友達の輪が広がっていないと感じる。初めてのことをするのは少し勇気がいるが、お母さん達自身が多様な価値観に触れ、広い視野を持ち、我が子にマッチした子育ては何がいいのか考え、チャレンジしていけたらいいと思う。きっかけ、ヒント、アドバイスなどを支援者からもらえたらありがたい。
小倉南区	40	母子のひきこもりが増えているようなので、気軽に立ち寄れ、安心して子育て相談ができるような環境を整えて欲しい。
小倉南区	40	区ごとにできるとはどういうことか。１つだけできても遠くに出来れば行きにくい。交通手段を考えてまで、集える場に行くだろうか。よほど魅力が感じられないといけないのではないだろうか。
小倉南区	40	交通科学館あとが利用できるとよい。
小倉南区	40	サークルで自由に使える場所がほしいと思う。
小倉南区	40	気軽に足を運べ、子育てに関する情報が耳に入る場。子どもも楽しめる場だと良い。
小倉南区	40	「場」自体が余りに少なすぎるので、ただ単に数を増やしてもあまり意味が無いが、毎日必ずスタッフがいて安心して集える「場」を早急に解説して欲しい。
小倉南区	40	家庭的な雰囲気と目的をはっきりさせた意義のあるものを希望
小倉南区	40	様々な年代の人が集える場になるのが望ましい。幼稚園入園前の小さな子どもだけの子育て広場では、利用する人の層が限られるし、みんなのスペースにならないから。
小倉南区	40	どこで何があっているかきめ細かい情報発信を早急に対応してください。今、助けを求めているお母さんを助けてほしいと思います。
小倉南区	40	転勤族。熊本での東部児童センターがとてもよかった。北九州には同じようなのがなくて残念。
小倉南区	40	保育所を充実させてほしい。働く母親、専門職、働かなければ食べられない母親のために充実を。20数年前から待機児童が減らず解決されないのは、行政の甘さを感じる。
小倉南区	40	スタッフや支援者の質の向上と充実が一番だと思う。知識の豊富な人が必ずしも良い支援者とは限らない。

区	年令区分	Ｑ４　自　由　記　述
小倉南区	40	児童館を増やしてほしい、児童館職員の子どもたちへの気配りの充実、駐車場
小倉南区	50	お年寄りから赤ちゃんまで幅広い世代の人たちか集える場が必要だと思う。
小倉南区	—	フリースペースや子育て相談など午前中が多いけど、午後からがいきやすい。
小倉南区	—	同じ月齢の子どもを持つお母さんと仲良くなれて、友達の輪広がったようで嬉しい。もっと多く広くみんなに利用されればいいのになと感じ。
戸畑区	20	同じ年齢の子別に遊べるスペース（日にち分けでも良いかも）があれば嬉しいと思う。
戸畑区	20	今、歩いて行ける場所にあるので助かる。
戸畑区	20	同じ年齢の子毎に時間を分けて、いつでも気軽に入れる遊びのスペース、出会いのスペースがほしい
戸畑区	30	私は小倉北区に住んでいますが、車の通りもおおく、町内の子どもも少なくまばらなため、気軽に子どもたちが集まれる施設が近くにできると、とても助かると思います。
戸畑区	30	集いの場に希望すること　①駐車場が無料②幼児用トイレが完備
戸畑区	30	子育て広場とか時間が短いので、ごはんとか食べながらゆっくりと遊べる場があればいいとおもう。
戸畑区	30	施設の駐車料金は無料にして欲しい。
戸畑区	30	スペースとしての箱物を新たに作るよりも、児童館などの活用でよいのでは？
戸畑区	30	保育士さんに子どもとのコミュニケーション法を学びたい
戸畑区	30	双子のため、双子の集いの会を増やしてほしい
戸畑区	40	子育て中はいろいろな疲れや不安を持ちながら育児をしていたように思います。そんなとき地域の子育て広場に行く事でほっとしたり、お友達が出来て楽しい思いをしたことを覚えています。そして子どもが小学３年生になったいまでも子育て広場で一緒だったお母さんたちとはお付き合いが続いていたり、違う校区でも会うとお喋りしたりいい関係が続いています。是非そのような関係作りが出来る子育て広場になればいいと思います。
戸畑区	40	以前に比べると集いの場は増えつつあるが、もっとPRをしたほうがよい。
戸畑区	—	あきらめています。
戸畑区	—	時間が短いので、昼をはさんで、過ごせるところがあればいいと思う。
不　　明	30	安全に親子で楽しめる場所であってほしい。(ケガ、不審者対策）スタッフにはいってもらって遊びを通して友だちをつくりたい。少しの間子どもと離れてリフレッシュしたい(〇〇講座に参加してみたい）　行きやすい（立地、駐車場等）
不　　明	30	出来れば、週末の土・日に、予防接種が出来れば助かる。
門司区	20	土日祝日に無料で開いているところが少ないので、ほしい。
門司区	20	駐車場がある。まやは、公共機関が利用しやすいところ。経験者が集う場にいてくれると相談しやすく心強い。就学後も親だけでいける様な場があるとよい。(行きたい)
門司区	20	私自身知らない土地で子育てをすることに不安があったのですが、支援センターを利用することで不安も解消され、随分助けられました。スタッフやママ友さんのなにげない会話の中で子育ての楽しさを実感することもあります。知らない土地でママが孤独にならないためにも（子どものためにも）子育て広場は必要であると思います。
門司区	20	日頃小さい子どもを遊ばせられる場所が少ないので、小さい月齢の子どももいけるような場所であってほしい。
門司区	20	車で行ける。駐車場がある。お金がかからない。格安で遊べる。不用品の交換会。フリーマーケットが出来る。
門司区	20	子育て中の親にとって、毎日が子供中心になり、社会から遠ざかっていく気持ちの中で、焦りもある。一週間に一日でも自分のために何かしたい気持ちを満足できる場所があればとてもありがたい。
門司区	30	やはり近くであること（門司駅付近)、キレイであってほしい。相談の場。友だちができれば嬉しい。
門司区	30	このようなセンターが増えるとうれしい。親の希望としては、土、日曜日も空いているとうれしい。また、午後の利用も。それから場所の提供だけではなく、専門スタッフがついていて、リトミックや体操など、プログラムがあると、遊び方にも幅がひろがり、学べる。いっぱい期待している。

区	年令区分	Ｑ４　自　由　記　述
門 司 区	30	いろんな場所に支援センターができると相談やこどもが遊べていい。
門 司 区	30	交通の便のよいところにできたら利用しやすい。
門 司 区	30	子どもにとっても親にとっても安心して集える場であり、専門家である先生に気軽に相談できる。今のこの場は理想的です。また在園児さんの様子も身近にみられることで成長や遊びのお手本になる。このような場が増えるのはありがたい。
門 司 区	30	たまに食事をいっしょに出来る場があれば子どもたちもお友だちの様子をみることでプラスになることがたくさんあるのでは？と思います。
門 司 区	30	安全に子どもが遊べる場所。同年代の子ども同志のお友だちがほしい。公園の砂場が不潔なので清潔な砂場がほしい、
門 司 区	30	未就園の遊び場、同年齢児の集いの場の情報の提供をもっと広く知らせてほしい。
門 司 区	30	週末や午後利用できるとありがたい。
門 司 区	30	保育所にある支援センターを使わせてもらってます。いつも楽しいけど、時間が短いのが残念。
門 司 区	30	安心して通える場所をつくってください。
門 司 区	30	外のスペースが広いほうがよい。屋根もつけてほしい。市とはまた違う感じになれば両方いききできる。
門 司 区	30	市民センターが休日利用したくても空いていないので空いていてほしい。横にグランドがあるのに柵に鍵がしてあって、自由に利用できず困る。
門 司 区	30	いつでも何でも相談できて・・一人で悩むのではなく安心できます。わたしも子どももたくさん友だちができて、感謝です。
門 司 区	30	清潔であること！キケンでない。ヘンな人が来ない！
門 司 区	30	たくさんの集いの場ができるといいですね。仕事をしているので、もっと週末にいろいろなことがあるといいと思います。
門 司 区	30	宮崎では人口が少ないのもあり（田舎でした）こうゆう場があまりなく、門司に来て、すばらしい場所があるのだな、とうれしく思った。
門 司 区	30	子育てふれあいセンターで（ＡＩＭ）のように雨の日でも室内で安心して遊ばせることができ、お弁当持参でゆっくりできる場所が増えるといいな。
門 司 区	30	イベントや集いなどが平日にあることが多いので、できれば土日もあれば参加できる機会が増えると思います。
門 司 区	30	子供が体を使って遊べる場所を考えてほしい。
門 司 区	30	区ごとにできる集いの場には期待は一杯だが、現在、子供が安心して遊べる公園(外遊びができる空間)が汚れていたり、草が生い茂っていたり、砂場が犬猫のふんで汚れていたり、日よけがなかったり・・・出来れば、日よけのある砂場(犬猫が入れない柵があったりすると嬉しいかも)現状、市民センター、児童館はよく利用させて頂いていますが、すごく子供も気分転換になり、また、遊びの幅も広がっています。
門 司 区	30	最近は駐車場があるところが増えてきているものの、台数が少なかったり、乳幼児が乗り降りするには狭かったり。広くて大きな駐車場があればより多くの方が参加できると思う。
門 司 区	30	小さな子供がいても、連れて行きたいと思えるような場所にしてほしい。「子育てふれあい交流プラザ」に行ったことがあるが、マナーの悪さにがっかりした。使う人のマナーの大切さを意識づけていく努力も必要だと思う。
門 司 区	30	新しく“集いの場”を作る必要があるのか？市民センターやサークルで友達作りは出来るし、室内で遊んだり、学んだりする場は、ふれあい交流プラザなどがある。北九州は屋外で遊ぶ場が少ない気がする。入場料が高い割に充実していないので、現在ある公園をリニューアルして、親も子もゆっくり楽しめる、屋外のスポットを増やしてほしい。安く利用できる、ちょっとした遊園地たくさん出来ることを期待します。
門 司 区	30	働いている親にとっては、子供が病気になったときなどが困る。地域に病気のときでも安心して預けられる施設があると良いと思う。
門 司 区	30	父親でも参加できるような子育て広場。

区	年令区分	Ｑ４　自　由　記　述
門 司 区	30	外遊びができる公園が近くにない。外食を子供と楽しくできるところがない。休みの日、遠くに行かないと外遊びできない。
門 司 区	30	小倉北区の子ども文化会館みたいな施設が、各区に出来るといい。ランチルームがあって、そこに限りお弁当などを食べられるようにするといい。年齢を問わず、いろいろな子ども達が遊びにいけて、地域の人たちと出会い、顔見知りになれる場所があるといいと思う。
門 司 区	30	相談の場や情報提供の場としては、各市民センターでも対応できると思うが、飲食を共にすることによってできるコミュニケーションもあると思うので、まず飲食スペースは必需品だと思う。私は子ども２人をつれて小倉の「ふれあい交流プラザ」をよく利用しますが、あの飲食スペースにアイスやジュースの自販機は必要ないと思う。(子どもは目に見えるものをほしがるに決まっているのに、あえてあそこで我慢させるのは酷だと思うし、子どもも納得できないと思う。）そういった観点から本当にあらゆる面で子どもに配慮された環境整備を望みます。子育て中の今だからこそ、学びたいというお母さんは多いと思うし、そうでないお母さんにもそういう気持ちになってもらいたいので、託児付の色々な講座を是非常時開催してもらいたい。
門 司 区	30	色々な世代の交流。母親一人ではできない遊び（体を使ったり、ハイキングなど）
門 司 区	30	育児相談に行ったことがあるが、少し暗いイメージが。たまたまかも。相談なのでそうなのかもしれないが、区内では決まった日しかないので、子供の体調でタイミングが合わないことも。いつでも気軽に行けるとよい。
門 司 区	30	公園の少ない地域に住んでいるので、遊具がたくさんある場所ができると良い。
門 司 区	30	新しく集いの広場が出来たなら、週に１回は子育て相談を！
門 司 区	40	はいりやすい感じのよい集いの場
門 司 区	40	新しいスペースができる事もよいが、「区ごと」という事で実際は車がないと行きにくい人も居ると思う。各々がベビーカー等で歩いていける場所（現・児童館や市民センターなど）の環境整備を急いでいただきたいと思います。
門 司 区	40	親と子供が安心して遊べる施設がもっと増えると嬉しい。
門 司 区	40	雨の日でも安心して集える、子供と遊べる場があるといい。母親が社会とのつながりを感じながら子育てができるきっかけの場。色々な世代との交流がある場。
門 司 区	40	JR門司駅の海側や海峡ドラマシップなど分かりやすい場所、車で行きやすい、駐車場がある。入場料がかからない。安い。ベビーカーで利用しやすい。
門 司 区	40	集いの場に足を運ぼうとする親はまだいいが、もっと広く呼びかけをし、開かれた場であることを印象付けることも必要ではないか。本当に支援を必要としている親子は、もっと深い処にいると思う。専門家の育成が不可欠では。
門 司 区	40	小学校区が広いので、校区に１ヶ所では自宅から遠く、利便性が悪い人が出てくる。その為、駐車場があるか、バス路線を考えて設置して欲しい。
門 司 区	40	町内の子ども会等で会食ができるようなスペースがあるとよいと思う。
門 司 区	50	行政側が整備した施設に来られる方々は、良識ある人がほとんどです。しかし、孤立している親、非常識な親など、一部のある親にこそ、学びの場が必要だと感じている。
門 司 区	—	清潔な砂場のある公園、日陰のある公園。
門 司 区	—	「子供の館」みたいなのが門司区にもほしい。
八幡西区	30	食事のできるスペースがあれば良い。駐車場の設備。紙芝居・絵本を静かに読むスペース。
八幡西区	30	北九州市の子育て支援施設は既存のもので充分と思う。仕事を持つ親としては、放課後教室の充実や長期休み期間など子どもたちが自由に通える公共の施設の活用を期待する。
八幡西区	20	八幡西にも「子育て交流プラザ」のような施設ができれば嬉しい。毎日時間があるときに気軽に遊びに行けるような子育て支援センターが近くにほしい。
八幡西区	20	無料で開放している場がもっとほしい。毎日利用できる場所がほしい。
八幡西区	20	集いの場が少ない
八幡西区	30	もっと場所と開いている日を増やしてほしい。
八幡西区	30	色々なイベントをしてほしい。駐車場を完備してほしい。

区	年令区分	Ｑ４　自　由　記　述
八幡西区	30	子育てふれあい交流プラザが黒崎近辺にもあると良いなと思う。市民センターの育児サークルの回数を増やしてほしい。
八幡西区	30	永犬丸地域には小倉に有る「子育てふれあい交流プラザ」や黒崎駅横の「こども館」のようなセンターがほしい。
八幡西区	30	中間市の子育て支援センターみたいなものがよい。プラス食事が出来る場所がほしい。パンフ・リーフレットは他区・市のものを置いてほしい。物々交換や売ります・買いますの掲示板など。
八幡西区	30	孤立した中で子育てされている方が多いと思うので、正しい情報と友達との交流で育児不安が少しでもなくなるような場所になればいいと思う。スタッフがいると、引っ込み思案の親も来やすくなると思うし、集団ルール・マナーを親も勉強する場になればよいと思う。
八幡西区	30	子どもが小さい頃は、市民センターの育児サークル・児童館に連れて行き、色々な人たちから親も子も声を掛けられて、話をしたり助かったような気がします。そこで知り合った方で仲良くお付き合いをしている方もいます。親子にとってこれから気軽に、楽しく集まれる場がたくさん出来るといいなと思います。
八幡西区	30	交通の便が良い所。外遊びと、内遊びの両方ができること。
八幡西区	30	「子育てふれあい交流プラザ」は親子で時々利用していますが、とても満足しています。区ごとに出来る集いの場についても、類似の施設を期待します。屋内で安心して遊べる場。
八幡西区	30	子育て中の親にとって一番のストレスは、しゃべれる相手がいないことだ思う。実家が遠くにあったり、引越ししたばかりで環境の変動があったりと、人さまざまだが、人によってはすぐに場になじむ方もいるとは思うが、人と話すことは子育てしながらいろいろなことに不安になった時に、とても役に立つ。子どもが小さな間はできるだけ親が家に居る状況をぜひ作って欲しい。
八幡西区	30	幼稚園、小学校にあがる前の情報提供、例えば園の内容、かかる金額。小学校に行く為に準備した方がよいものなどの先輩ママの声を聞けるコーナーなど。
八幡西区	30	各校区ごと、市民センター、児童館を核として育児サークルやフリースペースが続々と立ち上がっていますが、どちらでも支援スタッフ（無給ボランティア）の熱意に頼るばかりで、後継者不足やノウハウ等の情報不足に悩まされています。そうした支援スタッフを支える体制として、専従の人間、場所を整備して欲しいと思います。子育て支援の立場を考えるときに、無給ボランティアをあてこんでいる安易さを感じることがよくあります。高齢者介護に向ける行政支援と同等までは言いませんが、スタッフを支えるスタッフにはそれなりの裏打ちが必要。
八幡西区	30	暑い日、寒い日、雨の日でも親子で遊びに行ける場所。同じ年頃の子どもたちが集まりそうな所、友だちと一緒でなくても行けそうな所。親も気分転換できるような所。そんな場所を今のお母さん方は求めているよう。
八幡西区	30	子育てのこと、ご近所のおつきあいのこと、心のことなど身近なことで、相談できる人と気軽に話ができればよいと思う。遠方から北九州市に転居されてきて、身近に手伝ってくれる親戚がいない方等が「助けて」と相談できたり、頼れたりするといい。
八幡西区	30	子育てのストレスを解消できる場が欲しい。
八幡西区	30	たくさんの親子がいろいろな悩みや情報交換ができてみなさんが安心して利用できることがとても良いと思う。今後も私たちがいろいろな形で人とふれあいを学んでいける場であって欲しいと思う。
八幡西区	30	子どもが安全に体を動かして遊べるような場が欲しい。雨の日でも。
八幡西区	30	子育て中の親にとって一番のストレスは、しゃべれる相手がいないことだ思う。実家が遠くにあったり、引越ししたばかりで環境の変動があったりと、人さまざまだが、人によってはすぐに場になじむ方もいるとは思うが、人と話すことは子育てしながらいろいろなことに不安になった時に、とても役に立つ。子どもが小さな間はできるだけ親が家に居る状況をぜひ作って欲しい。
八幡西区	30	ゲームセンターのような場所が北九州市には多いように感じる。そういう施設ではなく、スポーツができるような場所影響を作って欲しい。
八幡西区	30	子どもが楽しく遊べる大きなひろばが、あればいいなと思う。

区	年令区分	Ｑ４　自　由　記　述
八幡西区	30	日ごろ接する機会が少ない70代、80代のお年寄りに折り紙、お手玉、あそび歌などでゆったりと遊んでもらえる場が欲しい。親も一緒にホッとできる時間を過ごす。
八幡西区	30	駐車場が広い方がいい。車を持たない人でも乗り合わせでこれるよう。また、近くでも雨の日ect…車だと来やすい。
八幡西区	30	気軽に参加できる雰囲気の場だといい。
八幡西区	30	子どもが安全に安心して遊ばせることができる場所であればうれしい。
八幡西区	30	幼稚園、小学校にあがる前の情報提供、例えば園の内容、かかる金額。小学校に行く為に準備した方がよいものなどの先輩ママの声を聞けるコーナーなど。
八幡西区	30	各校区ごと、市民センター、児童館を核として育児サークルやフリースペースが続々と立ち上がっていますが、どちらでも支援スタッフ（無給ボランティア）の熱意に頼るばかりで、後継者不足やノウハウ等の情報不足に悩まされています。そうした支援スタッフを支える体制として、専従の人間、場所を整備して欲しいと思います。子育て支援の立場を考えるときに、無給ボランティアをあてこんでいる安易さを感じることがよくあります。高齢者介護に向ける行政支援と同等までは言いませんが、スタッフを支えるスタッフにはそれなりの裏打ちが必要。
八幡西区	30	児童館に冷暖房完備してほしい。
八幡西区	30	もう少し回数を増やしてほしい
八幡西区	30	医生ヶ丘でも毎月ほのぼの相談をしてほしい。（２ヶ月に１度なので）
八幡西区	30	子どもの館のような室内で楽しく遊べる場がもっとほしいです。
八幡西区	30	駐車スペースがたくさんあるといい。子どもの館は、駐車料金が高いので頻繁に利用しにくい。
八幡西区	30	親も子も楽しめる本がある図書館があるといい。貸し出しもあるとうれしい
八幡西区	40	最近はいろいろなところで育児サークル、相談窓口など本当に今の若いお母さんたちは、子育てをするうえで、いい環境にあると思う。でもそれが本当にいいのか、疑問を持っている。子育てを楽にしてあげるのではなく、大変だけど楽しめる様にお母さんたちを育ててほしい。
八幡西区	40	今の子育て広場は、親と子どもが遊ぶのみの場になっていますが、子どもを教育する前に、親に色々なことを学んでもらって子育てに役立ててほしい。
八幡西区	40	小学校の図書館や児童館に司書を配置し、地域に開放されて欲しい。
八幡西区	40	子どもたちは中学生、小学生になり、自分の時間が少し持てるようになったが、子どもたちが乳幼児の頃を思い出すと、なかなか自分の時間が持てずにストレスがたまっていたかなと思う。隣の部屋で子どもたちに読み聞かせをしてくれて、母親がリフレッシュできる講座etcのスペースがあれば、子育てにも少し余裕ができるのではと思う。
八幡西区	40	小学校、中学校の30人学級、養護学級の定員８人に一人の先生から５人くらいなど、早くして欲しい。
八幡西区	40	広いスペースで子どもが自由に行動できる。
八幡西区	50	折尾地区には住民が９万人住んでおり、戸畑にはウエル戸畑という1000人の人が集まれる立派な施設があるのに折尾にはそんな施設がない。ぜひ、交通の便のよいところに集会および会議ができる施設を作って欲しい。
八幡西区	―	もっと身近に整備された外遊びの場がほしいです。室内ではなく戸外で自由に走ったり、転んだりできる経験が不足しています。
八幡東区	20	午前中しかあいていないことが多いので一日中あいているか午後もあいている集いの場がほしい。
八幡東区	20	とても楽しいので、来れるときはよく利用させてもらってます。身体測定もありたすかっている。時間が早いので、午後からもあるといいなと思います。
八幡東区	20	たくさんの方と知り合うことができてとてもいいと思う。東区内での市民センターの育児ひろばもけっこう金曜日にかたまっているような気がするので、もう少し日にちがバラバラだと他のところにもいけるかな、と思います。
八幡東区	20	食事を取るスペースがある場所が少ないので、増えるといい。

区	年令区分	Ｑ４　自　由　記　述
八幡東区	20	さくらのようにいつでも開いていて、おもちゃの沢山ある場所が沢山欲しい。八幡西区に無いので。
八幡東区	20	八幡東区は老人の町と言われているので、子育て支援が少ないと思う。もっとさくらのような場所を作ってほしい。
八幡東区	20	毎日開いているような子どもが遊べる場所が欲しい
八幡東区	20	図書館にオムツ替えや授乳コーナーがないのが残念
八幡東区	30	乳幼児と小学生位の子が同じ空間にいるのは乳幼児の親にはハラハラすることもあるでしょうが、異年齢の子どもがふれあえたり、乳幼児だけでなく小・中・高生のそれぞれが集える事が必要だと思います。
八幡東区	30	土日祝日もいける場が必要。土日も主人が仕事なので。同じような環境の親子と出会いたい。子育てやそれ以外のことを相談できるスタッフの方がいると助かる。
八幡東区	30	子どもが自由に遊べるスペース遊具、環境がより充実していくことを期待しています。
八幡東区	30	集いの場は増えているのでよいと思う。学童保育も各学校内に作ってほしい。
八幡東区	30	週末もあいていると、父親も子どもが普段どんなところで遊んでいるのかわかってよいと思う。
八幡東区	30	親子でゆっくり遊べる場所が欲しい。週末は上の子（小学生）も連れて行けるところが欲しい。
八幡東区	30	八幡西区内にさくらキッズのような場所を作ってほしい。西区も広いので２～３箇所ほしい。誰でもいけるように。市民センターも月に２～３回あけて欲しい。
八幡東区	30	食事ができる場ができたらいい
八幡東区	30	お昼寝や食事の時間により参加できない時が多いので、長い時間あいていて欲しい。
八幡東区	30	週末も開いていて、上の子（小学生）も一緒に連れて行ける使節が増えて欲しい。
八幡東区	30	家で二人きりでは煮詰まるので、集いの場があると嬉しい。
八幡東区	30	現在さくらに通っていますが、このような施設が増えると親にも子にも良い。
八幡東区	30	他県から里帰りしている人でも気軽に参加できると嬉しい
八幡東区	30	無料の広い駐車場があり、小学生と未就学児が同時に安全に遊べる場所が欲しい
八幡東区	30	さくらのような場所がたくさんあるといい
八幡東区	30	新たに作るのも良いが、今ある市民利用スペースに全て座れる（畳等）スペースができるだけでも違う。子育ては毎日24時間。日常生活に組み込めなければ支援にはならない。家から歩ける距離、毎日使えるが基本。時々大掛かりな所へイベント的に出かけるのはいつのも支援にはならない。またスタッフの日があることで親子の礼節も保たれる。場所があれば孤立した子育てに悩むことも減る。又、医療の担保なしには子育てはできない。救急にかかっても２時間待たされ、「解熱剤で様子を見ましょう」と帰されても・・・。スタッフも「何でもお答えします」の専門家よりも、聞いてくれる人一緒に考えてくれる子育て経験者、同じ年頃の子を持つママ友のほうが必要。子育てに正解は無いのだから、「答え」を出す人ほど信用できないものは無い。責任はとってくれない。
八幡東区	30	交流プラザ、子どもの館等たまに利用するが、駐車場の金額などが高すぎていつでも行こうという気にはなれない。スーパー等（イオンなど）に親子で安心して食事ができる専用スペースが欲しい（子連れではない人に迷惑にならないよう）。八幡西区には保育所を開放してくれている場所が見当たらない。週末に子どもを遊ばせるところが欲しい。今後育児をする人が楽しく子どもと遊べるようにスペースを増やして欲しい。自分も色々探して今も遊んでいる。
八幡東区	30	天候の悪い日でも行ける様に毎日開けて欲しい。お金がかかると結局行く日が少なくなり活用されなくなると思う。ある程度の年齢分けは必要（１つのスペースでも分けてくれないと怪我があったりトラブルが発生しやすいと思う）食事を作るところが有ればすごく良い。八幡西区には毎日開いている施設は無いので是非欲しい。
八幡東区	30	スタッフに気軽に相談できる、子どもが安全に遊べて他のお子さんと触れ合えることが大切。初めての人でも入りやすい空気を希望。
八幡東区	30	ずっと二人きりで遊んでいたので、人の中にはいって遊ぶことが無かったので良かった。

区	年令区分	Ｑ４　自　由　記　述
八幡東区	30	AIM子どもの館は、来館する子どもの対象年齢が広いので、広く浅くといった感じで、いざ遊ぶスペースが少ないので対象年齢を対象年齢を絞ってスペースを確保できたほうが遊びやすい。もっと専門家の意見を聞いて作ったほうが良いのでは。
八幡東区	30	持ってきたお弁当を食べるスペースが欲しい。自販機とかは要らないので、テーブルと椅子が欲しい。
八幡東区	30	区役所でマタニティの教室が幾つかあって参加した。市民センターでも子育てサークルやフッ素などして、小さい頃からセンターを利用してもらって、若い世代ももっと利用できるように情報提供していけたら良い。
八幡東区	30	公共の交通機関を使って行きやす場所に多く点在すると行きやすいと思います。
八幡東区	30	保育所でなくても、忙しいときに少しでも預けられるところが身近にあるといい
八幡東区	40	外遊びのできるところが増えるといいですよね。
八幡東区	40	現在児童館の未就園児のあつまりに参加していますが、近隣になく駐車場もないので、バスを利用しています。小さい子どもをつれての移動は大変で行くのがおっくうになってしまいます。市民センターでも同様の親子体操やあそび教室を行ってもらえると多くの方が利用できる思います。
八幡東区	40	幼稚園や保育園へ行くようになれば、親子とも出会いはあるが、個人個人の育児や環境（家庭や友人等）の悩みを気軽に相談できる場になればいいとおもう。
八幡東区	40	どのような場になるのか、予測がつきませんが、しつけなどを少し学べるといいです。
八幡東区	―	託児つき講座がとても少ないのです。(講座はたくさんあるのに）基本的にはほとんど託児つき（予約、有料でも可）があたりまえという風にはなりませんか？
八幡東区	―	幼稚園、小学校、中学校の情報が得られる集いに参加したい
若 松 区	20	子ども達が自由に出入りできる、毎日あいているフリースペースを、ぜひ各区ごとに作って欲しい（料金もかからないほうがいい)。若松・八幡西区ないが行動範囲だが、水巻の支援センターまで出かけることもあるので、近くにぜひ作って欲しい。
若 松 区	20	自然のことに子ども達が興味を持って、活動できたらいいと思う。
若 松 区	30	講座もあったほうがいいが、毎日あいていたほうがいい。今もいろいろな行事をしてくれていて助かっている。
若 松 区	30	どこのサークルも開催日が月２回or１回で曜日が決まっているので、いつでも時間のある時に利用できるような施設があると助かるなと思う。ただ集まっておもちゃで遊んで終わりというより、集まった子ども達で何か作ったり、遊んだりというような事が出来るといい。
若 松 区	30	周りの安全性（道路にすぐ出れないような工夫がある）など。親の身になって考えてある場を希望。
若 松 区	30	子育てふれあい交流プラザのような施設を各区に作ってほしい。
若 松 区	40	毎週１回は、何時間か広い遊び場が使えるとうれしい。
若 松 区	40	働く女性を支援していただけるよう、子どもを預かる環境に充実を求めます。
若 松 区	40	友達がいなくても行ってみようと思える場所があるといい。自分の子育てが「大丈夫よ」といってくれるやさしいおばちゃんがいてくれるとほっとする。子どもも親も異年齢で集えるといい。
若 松 区	40	(ほっと子育てふれあいセンター)の交流会みたいな会が嬉しいです。参加できやすい雰囲気で、話の内容もとてもよかった。
若 松 区	40	人間としての学びの場となるように、子どもにも親にもちゃんと注意の行われる場。

■支援者の場合

区	年令	Ｑ４　自　由　記　述
小倉北区	40	自然（土、生き物、虫、風・・）の中で安全にすごせること
小倉北区	40	子育て中の人だけでなく、いろんな世代の人がかかわれる場。支援が必要な人(家族)には、適切な機関につなぐなど。そのためのスタッフの充実と身分保障。
小倉北区	50	草花風土等、自然に触れられるような場で、多世代交流もできるような場であってほしい。

小倉北区	50	現在の市民センターのフリースペースを集いの場にあてればよい。
小倉北区	50	区ごとでなく、市民センターにフリースペースを作るべきだと思う。
小倉北区	50	区ごとに新しく作るよりも、現在各センターで行っているフリースパースを活用を見直し、親子が集いやすい近所にあった方がいいのでは。集いの場が親がわがままで使用できる場にならないようにして欲しい。
小倉北区	50	家庭の中だけの子育てをしている親子を利用させることができるようといいなと思う。
小倉北区	50	集まるお母さんたちが自主運営できるように支援者が手助けする施設になって欲しい。お母さん自身がお客さまにであってはいけないと思う。
小倉北区	60	託児ボランティア経験から、楽しくボランティアできる場が大事です。それには市民センターの館長さんの協力、理解があると子育て支援活動が出来ると思う。地域のセンター内に作るべき。
小倉北区	60	元気な高齢者がセンターでデーサービスを受けている様、乳幼児親子にも定期的に学び、遊び、相談、情報交換等、行政、センターが主になりそして地域の協力でリフレッシュできて、子育てを楽しくできる環境づくりをやってもらいたい。
小倉北区	60	車で行く、駐車の心配のいらないこと。親から支援者世代間のギャップを埋める配慮。
小倉北区	60	市民センターのセンター長に子どもも孫もいない人は、子育て支援に目を向けていない。分かっていない様に思う。積極的な気持ちがない。
小倉北区	60	いつでも誰でも子どもを愛する人は出入り自由。どんな小さなことでも気軽に相談でき、その為の情報の提供が出来る体制作り。子育てに疲れた人がお茶を飲みながら、ちょっと離れたところから我が子を眺める場。同年代の子供を持つ親同士の話の輪。お年寄りの交流の場。
小倉北区	60	市民センターの内容の充実。
小倉北区	60	子育てに専門家は必要だが、子育て経験のないスタッフがああしろ、こうしろと指導することに疑問を持っている。学びの場としてお互い情報交換の場所として利用する程度にすると気軽に参加できる利用者も多くなると思う。
小倉北区	60	時間帯が決まっていなくて、いつでも自由に集える場。必要に応じて相談ができる場。親、子、双方の友だちづくりのできる場。
小倉北区	60	活動費を出して欲しい。
小倉北区	70	もっと力になって欲しいと思ってもいろいろあって、なかなかできない。
小倉南区	40	保護者の自立性・責任感を学べる機会を作る必要がある。してもらえるのが当たり前といった社会性の育っていない保護者の背中を見てその子が育つことになるから。
小倉南区	40	保護者がおんぶにだっこではなく、その場を借りてリフレッシュや友達作りができるような環境づくりをしたらいいと思う。
小倉南区	50	校区よりも別の体験できること。　支援者の学びの場（資格）が欲しい。
小倉南区	50	校区では取り組むのが難しいこと（例：講座、専門家の相談、バスハイクなど）公共の交通機関で行きやすいところでの開催。また、分かりやすい場所。
小倉南区	50	室内で遊んだりおしゃべりする施設はあるので、外遊びや草花をいじったり植えたりして、自然に触れる場所になると良いのではないか。そして子育ち親育ちが出来ると尚良い。
小倉南区	50	作るだけではだめで、スタッフなど地域住民の参加が必要では。サポートする側の人数確保ができた状態になってほしい。
小倉南区	50	市民センターでは、部屋が狭かったり、倉庫の場所が不便だったりとあるため整備してほしい。
小倉南区	50	誰でも知っている、来ても一人にならない配慮がある場
小倉南区	60	働いている人たちの子育てを助けないと、少子化は解消されないと思う。
小倉南区	60	フリースペース等の支援者としてお手伝いに出ているが、子育て時代に出来たお友達は、生涯に通じて良い友達関係を続けていくことが多いので、是非母親たちの良い出会いの場、友達作りの場であってほしいが、輪に入れない方もいらっしゃる。支援者の声掛けや働きかけや心がけなど、心して支援することも必要だと感じている。

戸 畑 区	50	親が、してもらうことに対して当然だと思いすぎる。「自分の子」の子育てなのだから、親としての自覚が持てるようにするべきではないか。環境を良くする事と親を甘やかすのとは違うのでは
門 司 区	50	学びの場→単に講座を受けるなどの狭義の意味ではなく、子育てをトータルに学ぶ環境であること。
門 司 区	50	役所のお仕着せにならないように、支援者と親子の居心地のよい場所にしてほしい
門 司 区	60	あらゆる人に知ってもらえるようPRしたほうがいい。門司区には古城保育園が有るが、親子が集える場所があればいい。
八幡西区	40	北九州市の子育て支援事業は、いろいろよいものがあるのに、必要な人伝わっていないように感じる。母子手帳申請や産科など必ず行くような場所でもっと宣伝して欲しいと思う。
八幡西区	40	サポートに入っている方で、双子の子を預けたいが、今の状態では無理と言われたとの話を聞いた時、答えられなかった。
八幡西区	70	子育ては長い目でみて、運営されることが需要であり、その時々の行政の都合（予算・人員配置等）で閉鎖さることのないようにする。子育てを通して親育てのできるような環境整備を十分に考慮されることが必要である。
八幡東区	50	行政担当者の力量にもよると思うが、ボランティアの協働となるなら、その研修をぜひ重ねてほしい。
八幡東区	60	気軽にいける雰囲気の場所(役所的でない)
若 松 区	40	核家族した母親が疎外感を感じない場になれば。子育てを終えた主婦がお手伝いできる集いを提供してほしい。
若 松 区	40	親子共に友だちの輪が広がり、それが地域活動等にも大きく広がっていくと良いと思う。
若 松 区	40	依頼者の家庭に入り、支援活動をしています。子育てひろばにいけないお母さん方も多くなってきている現実も知ってほしいと思います。
若 松 区	50	一般家庭の自宅を開放したような場所が身近にあるといい。

■専門家の場合

専門分野	年令	Ｑ４　自　由　記　述
	80	自由に過ごせて間食物が取れる。昼食も取れる。
	20	兄弟の数も減り、核家族も進んでいるので、いろいろな世代が交流して助け合える地域になると良い。
保 育 士	20	その区の特色や独自性が出るものがいいと思います。
保 育 士	30	１才未満児のみの対象の集いの場を多くつくってほしい。
保 育 士	30	清潔感があり、集える場がほしいと思います。
保 育 士	30	各園から保育士を出し、この集いの場を開園するというのはやめてほしいです。私たちは自分たちが担当している子どもたちも大切なのです。専門のスタッフ等が必ずつくようにおねがいしたいです。このような集いの場があるのは、私としても大変心強いです。
保 育 士	30	集いの場は大きな物でなく小さな物がたくさんあったほうが良い。
保 育 士	40	たくさんの人が子育て支援の必要性を考えていくことが大切。
保 育 士	40	気軽に相談できる雰囲気と場所。(駐車場・・子どもがいっしょの場合を想定して)
保 育 士	40	利用者が使いやすいことは大切ですが、親子にとって学びの場であってほしい（EX：お年よりがいて、経験知による助言をする等　ルールを守る　要求ばかり　言わないなど支援者がいえないことも言っていただく）
保 育 士	40	フリースペースが市民センターの親子サロンなどの´はしご´をして一日中家にいない母子をよくみかけます。一日中つれまわされ、子どもは疲れ気味。ママはおしゃべりしてリフレッシュ！は子どもの育ちにどうなのか・・。集いの場が増えることに関して保育者としてやや不安も感じます。
保 育 士	40	集いの場が親のリフレッシュの場になり、子どもに目が向かないことが多いため（あまり望ましくない)、子どもに配慮された環境整備は必要だと思う。また、親子が共に育ちあい学びあう場であり（わらべうた、あそび等遊びの提供)、親子が他者との出会いの場、子育ての悩みを専門家に気軽の相談できる場になることが望ましいと思う。

保育士	40	集いの場の中でもグループ化して固まってしまう。中に入れない親子がいます。そういう親子でもスムーズにその場にはいっていけるようなスタッフは必要だと思います。また、孤立化している親子をいかにサポートしてあげるかそういう場に参加できるかが必要なのでは？場ができてもいくまでに勇気がいるもの。
保育士	50	子育て中の親子と限定するのではなく、地域の人々が自由に気楽に集える場、交流できる場であってほしいと思います。
保育士	50	小さな場所の部屋も必要→0才（8ヶ月未満）がゆっくりできるため。
保育士	50	子どもをそだてるとき、楽しいこともあるけれど、保護者にもがんばってもらわないといけないことも。今、ちょっと大変だけどそれを越えると子どもとの楽しいひとときがもてる、そんなことを子育て中の人、子育てを終わった人がワイワイ話せたらいいな、と思います。しんどいこともワイワイいいあえるような場がいいと思います。
保育士	50	親が年長者に出会うことで子育て感等変わってくるのでは？親が甘えたりできる場が必要かもしれません。子どもの親子だけと範囲を決めず、誰もが寄り合える場所があればすてきです。
保育士	50	子どもが家の近くにいないことが多いので、いっしょに育つ、ルールを学ぶ事、保護者も年令なりの発達がわかり、どう子どもに接していったらよいか交流を通して学べる場になると良いと思う。ただ子どもに向き合う時間を減らすためにきているのでは、ひろばとしての意味がもったいないと思う。
保育士	50	現在あるフリースペースなど（保育所で行っている地域開放事業）では、リフレッシュの場としての利用が多いように感じます。安心して子どもの遊ばせる場を求めれる方も多いようです。子育て意識の向上を目指して質の高い子育てひろばが増えたらいいな、と感じます。
保育士	—	設備が整いすぎている。遊具がなくて親子でふれあえ、家庭に帰り、継続して遊ぶことができる場があってもよいのでは・・と思う。(物がなくても遊べる方法)
保育士	—	専門家がいてある程度の悩みに対応でき、専門機関にもつなげられる、スタッフが常にいることが必要では？友だちとの輪は近くの世市民センターや公民館でのつながりのほうがつくりやすいのでは？
保健師	30	いつでも行きたいときに行けて、一組の親子しかいなくても家では出来ない外遊びやおもちゃで遊べる場所
保健師	—	行政職員が減数となり、環境的には孤立化した子育てとなっている今、当事者同士の横のつながりを目的とした場は貴重である。必ずしも専門家の関与は必要ないと思う。各区の実情に見合ったものであるべき。一律の形にはしないことを希望。
心理	20	横のつながりとタテのつながりが必要だと思う。つまり、横のつながりは、友人・仲間であり、タテのつながりは専門家との相談と思う。仲間に支えられ、専門家と今後のことを具体的に相談するという体制が重要ではないかと思う
心理	20	気軽に利用ができ、子どもに関する発達や情緒的な心配がある場合には他機関につなげていく橋渡しの機能を持った場に成るとよいと感じる。
心理	20	こういった場があると、子育て支援のほかにも、虐待予防、虐待発見にも役立つと思う。既存の地域資源や児相等との連携が重要だと思う。
心理	30	働くママも集える場。少人数の所、大人数の所など、社交的な人でなくてもいろんな人が入りやすい場。
心理	40	出会いの場を作るためには、ただ場所だけでなくつなぎ手がいないとコミュニケーションが苦手なお母さんが多い。子育て、自分育ち（親として）について幅広い内容の啓蒙の場であると同時に癒しの場としての機能を併せ持って欲しい。
心理	50	子どもづれで気軽に行ける便利のよい場所が良い。集団に溶け込みにくい親（子ども）も入りやすいよう、スタッフのサポートがほしい。
心理	50	お母さん方がほっとできる場、サポート（？にも）してもらえる場であって欲しい
保育・心理	40	現在、各区にある「地域子育て支援センター」は保育所との併設だが、情報発信・スペース・駐車場等それぞれのセンター毎に差がある。地域的なものもあり、利用しにくいところもあるのではないか。コンビニに行くような感覚で気軽に行けるものがよい。 保育所はどこも入所がいっぱいで、スペース的に厳しい。今後は幼稚園・小・中学校（子が減って空教室があると思う）区役所（利便性の面より）等の活用はできないか。

臨床心理	30	一人で悶々としている・なかなか自分から行動できないお母さんが少しでも「行ってみよう」「行ってよかった」「ほっとできた」と思えるような場があるといい。
臨床心理	40	子育てに奮闘している方達が気軽に行ける場。そこで他の方達と支えたり、支えられたりする関係。そして分からないことは、専門家に聞けるという、安心で安全な場所・空間の提供が良いのではないか。また「子育てを考える（語る）親父の会」なども必要かもしれません。(ぜひ作ってください)
保健師	20	人が集まっているところに人が集まり、少ないところには人が集まっていない。
保健師	30	気楽に利用できる場であり、地域性があったら楽しそう。母乳相談など産まれてからすぐ使える場所が欲しい
保健師	20	親子が集える場ができることは良いことだと思いますが、集うことのできる家庭（外へでかけることのできる）の支援だけでなく、個別の支援体制も考えていきうべきだと思う。
保健師	30	子どもの年令が低ければ低いほど、親子で（特に母と子）でかけることは大変です。でもお出かけは題字。体調のよい日、悪い日、天候のよい日、悪い日、色々な中で、気軽に利用できる場があれば多くの方が利用しやすいのではと思います。
保健師	40	小学校区ごとの市民センターは、出会いの場、相談の場として機能していると思うので、区ごとにできる集いの場は親や支援者の学びの場であるとよいと思う。区、市民センターへ区役所のＰＨＮ等が出向いての相談は１／月程度なので親子がほっとしてすごし、常時相談できる体制になっていると母親の安心感が増すと思う。
幼稚園教諭	20	子育て情報など、気軽に知れること。核家族の増加により、悩んでいても、誰にも相談できない人が多く、幼稚園や保育園への入園なども、どうしてよいか分からないとよく聞きます。区ごとの集いの場を通して、その区の幼稚園・保育園の情報を提供したり、親子で遊べるスキンシップ遊びや、初めての子育ての方に、先輩ママからのアドバイスなど、情報交換の場になればよいのでは。